



土木建設業の仕事をPRする
来年のカレンダー

担い手不足が懸念される土木建設業界の仕事に目を向けてもらうと、鳥取県建設業協会は、来年のオリジナルカレンダー(縦60センチ、横42・5センチ)を500部作成した。

公共工事による社会資本整備など、地域に貢献できる仕事のやりがいを生徒にアピールするため、初めて作成。「地域の安全・安心、もっと広めよう、建設

土木建設に目向けて

県建設業協会、カレンダー初作成

仕事のやりがい写真でPR

業のこと」をスローガンに鳥取自動車道やダム、子どもたちの重機体験、除雪作業などの写真を採用した。

協会員や各自治体、教育委員会、県内の高校、中学などに配布する。同協会の中村力男常務は「将来の担い手となる中高生たちが、土木建設業の仕事に目を向けるきっかけになれば」と話している。